J-STAGEご利用学協会様向け

引用文献リンク付与の可能性向上について

平成27年10月13日

科学技術振興機構

Japan Science and Technology Agency

リリース概要

【リリース日】
2015/10/15(木)

【リリース内容】
J-STAGE公開画面の引用文献に対して当該文献へのリンクを付与する際に行うシステム処理を改修しました。

【効果】
J-STAGE公開画面の引用文献にリンクが付く可能性が高くなります。

【適用】
2015/10/16(金)以降の公開記事

【その他】
編集登載システムの入力画面に変更はありません。
リリースにあたり、システムの停止はありません。

今回の改修の目的

J-STAGEの引用文献ページでは、本文の所在が特定できたものにはアクセスリンクが付与されます。

従来、J-STAGEでは引用文献へのリンク付与率向上に取り組んできましたが、今回、DOI※を記載するとリンク付与率が向上する改修を行いました。

発行機関様においては引用文献の記載ルールを統一している場合もあるかと思いますが、この機会にDOIの記載についてもご検討ください。

※DOI(Digital Object Identifier)：コンテンツの電子データに付与される国際的な識別子

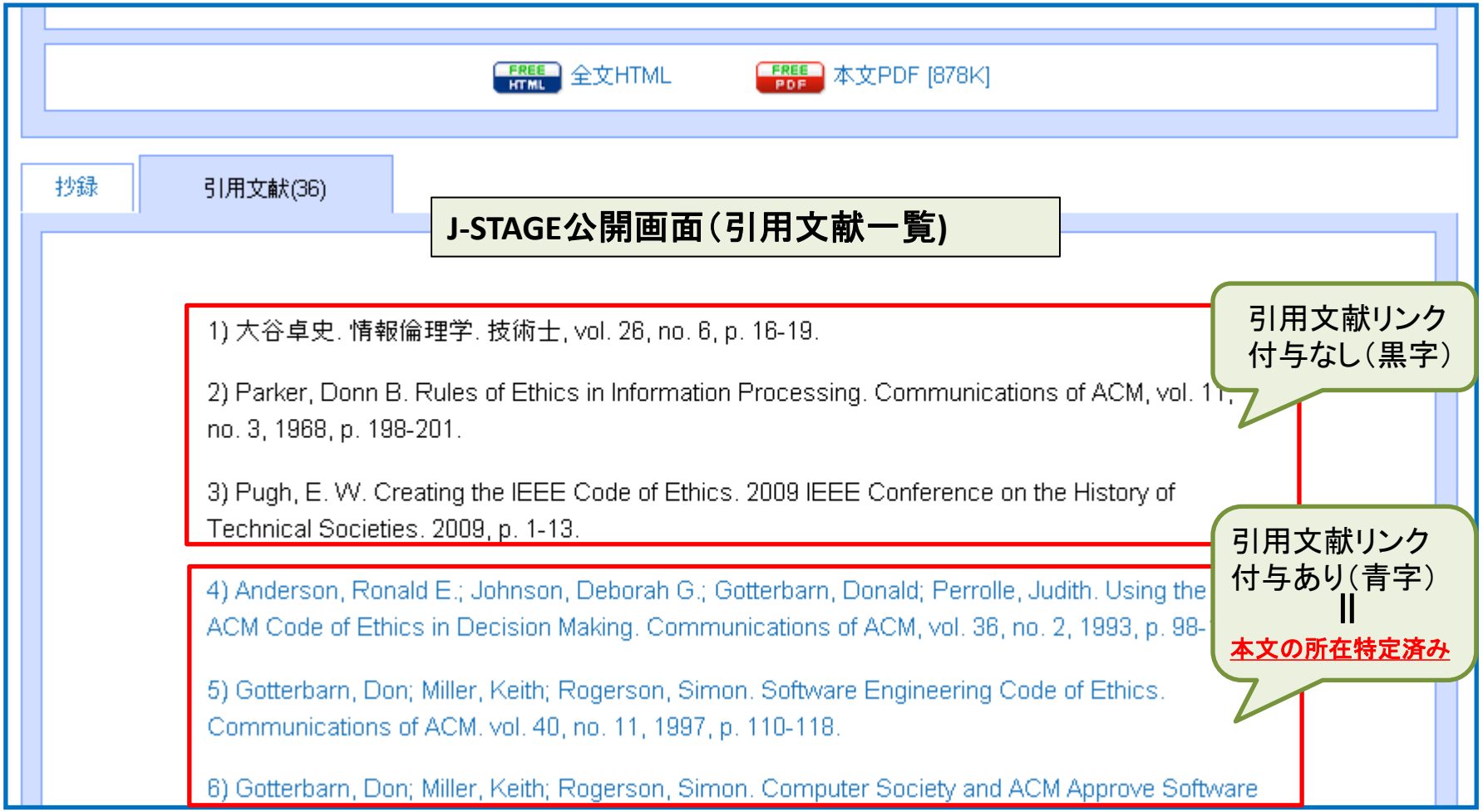
＜ご参考＞

引用文献の記載方法については、科学技術情報流通技術基準(SIST)の「参照文献の書き方」も合わせてご参照ください。

https://jipsti.jst.go.jp/sist/perusal/index.html

引用文献リンク

・引用文献の情報はシステムで解析され、本文の所在が特定できたものにはアクセスリンクが付与されます。（J-STAGE内に限らず、外部サイトにもリンクします）



解析処理の追加

引用文献情報の解析について、これまで対象外だったDOI情報を解析の対象としました。

引用文献の原文 （必須）	1) 加藤斉史, 土屋江里, 久保田壮一, 宮川謹至. ジャパンリンクセンターによるリンク管理と日本語の電子的学術コンテンツへのDOI付与. 情報管理. 2012, vol. 55, no. 1, p. 42-46. doi:10.1241/johokanri.55.42.

引用文献の原文中にDOIの記載がある場合、従来よりリンクが付く可能性が高くなります。

・解析処理は編集登載システムでの入力、XMLファイルのアップロードによる登載のどちらにも適用されます。
・本文の所在が特定できなかった場合、引用文献リンクは付きません。
・2015/10/16(金)以降に公開される記事から適用されます。

補足資料

補足資料(解析処理)

掲載先特定処理は引用文献原文の利用以外に、メタデータとして入力されたDOIやその他の書誌情報も利用しています。

- ①に入力されたDOIにより本文の所在の特定を試みる
- ②に入力された書誌情報により本文の所在の特定を試みる
- ①、②に入力がない場合は、③に入力された情報を抽出して本文の所在の特定を試みる。

その際に④DOIの入力があれば、抽出して本文の所在の特定を試みる(今回追加)

J-STAGE編集登載システム画面(引用文献登録・編集)

引用文献の原文(必須)	1) 加藤斉史, 土屋江里, 久保田壮, 宮川謹至. ジャパンリンクセンターによるリンク管理と日本語の電子的学術コンテンツへのDOI付与. 情報管理. 2012, vol. 55, no. 1, p. 42-46. doi:10.1241/johokanri.55.42. ④ ③				
	原文自動解析				
引用文献区分(必須)	雑誌論文		記事記述言語(必須)	日本語	
発行年	2012	巻	55	号	1
特許番号		開始ページ	42	終了ページ	46
DOI ①	10.1241/johokanri.55.42		PMID		②
資料名	情報管理				
標題	ジャパンリンクセンターによるリンク管理と日本語の電子的学術コンテンツへのDOI付与				

補足資料(解析処理)

・システムの都合上、引用文献原文にDOIを入力した場合でも掲載先の特定ができない場合があります。

	(例)	同定可否
DOI直後がピリオド	doi:10.1241/johokanri.55.42.	○
DOI直後が未記入、あるいはスペース	doi:10.1241/johokanri.55.42	○
DOI直後がカンマ	doi:10.1241/johokanri.55.42,	×